

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年4月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300864
法人名	有限会社 うへの福祉会
事業所名	グループホーム うへの
所在地	鹿児島県鹿屋市上野町5200番地1 (電話) 0994-40-3181
自己評価作成日	平成24年3月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設では、年間行事として、秋祭り、敬老会、忘年会、バイキング、バーベキュー、近隣住民によります、歌、踊りの慰問など計画して、楽しい時間を過ごしております。又、月行事も、誕生会、喫茶コーナー、音楽、書道、創作活動(共同制作によります、おやつ作り、季節の壁面制作等)など、盛り沢山の活動にも参加されています。当施設も、開所から8年目を迎え、利用者様も重度化の傾向にあります。御本人様の思いを少しでもかなえられるように、ご家族、職員、医療と密に連携を取り、ケアに取り組んでいます。看取りの時期も近付つつある現状にもありますので、看取りケアについての職員の教育として定期的に外部、内部研修を行いながら、共通理解、質向上に取り組んでいます。と同時に重度化に伴い、2年前より特殊浴槽を導入しています。車椅子のまま、安心してゆっくりと湯船に入り、入浴を楽しまれています。又、職員も、介護軽減につながり、大好評です。これまでのことを活かし、毎日を穏やかに自分らしく、生き生きと生活出来るよう支援し、安心して過ごせるような環境を整えて参ります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・町内会に加入し、地域の夏祭りや敬老会・運動会・グランドゴルフ等の地域行事に参加している。小学校や中学校の福祉体験学習や専門学校の実習生、ボランティアや慰問も受け入れており、ホールを開放したり、地域住民の福祉相談を受けたりして、地域とのつながりを大事にしている。

・重度化や終末期に向けた対応については、家族と話し合い、主治医と連携してできるだけ支援していく方針を説明している。看取りについて家族会の場でも話をしており、事業所内でも研修を行い、職員の共通理解に取り組んでいる。

・食材に庭の菜園で収穫した野菜をつかったり、利用者と一緒に食材購入に行ったり、外出時の弁当を作ったりして、また、花見などの行事食や事業所にラーメン屋に来てもらうなど、利用者が食生活を楽しめるように工夫している。

・特殊浴槽を導入して、安心して入浴ができるように配慮しており、また、月に1回は温泉に出かけ入浴を楽しめるように支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>・理念を見やすい所に掲示し、毎週月曜日の朝礼時に唱和を行い、それを共有して日頃のケアに繋げています。</p>	<p>理念は事業所内に掲示し、パンフレットにも載せている。毎週月曜日の朝礼時に唱和しており、事業所全体のリーダー会や職員会等で、理念を確認している。職員は、よりよいサービスが提供できるように努めている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>・地域の夏祭り、敬老会、運動会、グランドゴルフなど利用者様が参加し、交流を図っています。</p>	<p>町内会に加入し、地域の夏祭りや敬老会・運動会・グランドゴルフ等に参加している。小学校や中学校の福祉体験学習や専門学校の実習生・ボランティア・慰問も受け入れている。ホールを開放したり、住民の福祉相談を受けたりして、地域とのつながりを大事にしている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>・町内会の話し合いや、施設全体として地域貢献の意識を持って地域の方の相談に応じるなど実施しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・会議で施設での取り組みについての報告を行い、意見などを頂き職員会議などで全職員に共通理解して頂き、サービス向上に役立てています。</p>	<p>運営推進会議には、家族・民生委員・町内会長・市担当者が出席している。活動内容等を説明し、意見交換を行い、外部評価の報告もしている。その上で、意見等を職員会議に報告し、サービスの質の向上に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>・運営推進会議、行事などに参加して頂き連携を密に行い、事業所の取り組みの報告をして、協力関係を築いています。</p>	<p>市担当者と電話等にて相談や情報交換をしている。また、看取りについても助言を受けたりして、日頃から協力関係を築くように取り組んでいる。運営推進会議を行事に併せて行い、市担当者も行事に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・玄関の施錠は、基本夜間だけ行い、日中はしておりません。身体拘束に関しては、見守りを基本として日々ケアに取り組んでいます。</p>	<p>身体拘束をしないケアについて、事業所としての基本方針があり、同意書もある。身体拘束廃止の勉強会を実施し、見守りを基本に身体拘束をしない支援を行っている。日中は鍵をかけないケアを実践し、利用者が安全に生活ができるよう取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・外部内部研修での勉強会、研修に参加し共通理解をして頂き日々のケアの虐待防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・制度の理解に努め、より幅広く活用できるように、研修の機会を増やしていけるよう考慮しています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・十分な説明を心がけ、些細なことでも尋ねて頂けるようにして、理解・納得を図っています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・家族会、面会時に意見、要望等を聞き、家族が理解、納得が出来るよう話し合いを行い、改善点などを職員全体で取り組んでいます。</p>	<p>利用者からは、日常の支援の中で意見や要望を聞いている。また、家族からは、意見箱を設置するとともに、家族会や面会時を活用し、要望や意見を聞いて職員全体で話し合い、解決できるように努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・職員会議等で意見を聴取する他、普段から意見交換を心がけ、又、不定期ながらアンケート方式で書面にて意見を求め、反映できるよう、取り組んでいます。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・職員個々各自が向上心を持って働けるように職場環境、条件の整備に繋げられるように努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・内部、外部研修に参加できる機会を増やし、質向上に取り組んでいます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・勉強会などはあるが、同業者同士の交流、相互訪問の活動を通じての質向上の取り組みは出来ていないのが現状にあります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・コミュニケーションや会話の中で要望などを聞きながら信頼関係作りに努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・本人、家族の要望に応えられるサービスが出来るように努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・利用者、家族との会話を重視し、初期対応及びそれに続く支援がスムーズに実施出来るように努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・会話を心がけ、本人が出来ることを一緒に行いながら、関係作りに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>・面会時など近況報告行い、家族から意見をもらいながら関係作りに努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・暑中お見舞い、年賀状などを出して、近況報告を行ったり、電話等で話をされたりしています。</p>	<p>知人や友人の訪問があったり、年賀状等を出したり、電話で話す機会をつくり、馴染みの関係が継続できるように支援している。自宅訪問や美容院への外出は、家族の協力をもらい実施している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>・お互いを助け合い、支え合える関係を作りあえるよう支援しています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>・本人、家族及び移転先施設等からの問い合わせに対して適切に対応できるように体制作りを行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・本人との対話を重視しているが、困難な場合も出てきている家族などに相談したりして、出来るだけ本人の思いなどをくみ取れるよう支援しています。	日々のかかわりの中で、利用者との対話を重視して、思いや意向の把握に努めている。意志疎通が困難な人には、家族から入居時や面会時に情報を得ており、本人の意思を尊重した生活ができるように、職員が情報を共有して支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・本人や家族からの聞き取りを行い、入所後も小さなことでも見逃さず良いケアに繋げる事が出来るよう把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・毎朝の申し送りやケース会議などで現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ケース会議、担当者会議、だけでなく、日頃のケアの現場でも意見を出し合い、状態把握に努め、現状に合った介護計画を作成しています。	利用者や家族の意見を聞き、毎日の暮らしぶりをもとにケア会議で話し合い、利用者一人ひとりについて、現状に即したプランになるように作成している。介護計画の見直しは、6ヶ月毎であるが、状態が変化した場合は、随時見直しており、モニタリングも3～6ヶ月毎に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・ケース記録や日報などの記入やその伝達を行い、職員同士が把握できるよう努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>・個別のニーズに対応できるよう柔軟な姿勢を持ち、多機能化に取り組んでいます。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>・地域資源との関わりという点では把握できていない部分が多く、より良い関係を構築していけるよう模索しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・本人、家族の希望を大切にしてかかりつけ医との関係を築き適切な医療を受けられるようにしています。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医への支援体制を整えている。家族の協力を得ながら、通院の支援をしている。協力医療機関の月1回の往診や歯科医師の毎週の往診があり、連携をとりながら、利用者が適切な医療を受けられるように取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・かかりつけ医の看護師や訪問の看護師等へ連絡を取り、状態報告、適切な受診できるよう支援しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・書面による相互の情報提供を行い、又日頃から病院関係者との連絡体制を整え、良好な関係構築に努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・終末期については、早い段階から、本人、家族、主治医とカンファレンスを行い、事業所で出来ることを説明し、支援に取り組んでいます。</p>	<p>重度化や終末期に向けた対応については、入居時に家族と話し合い、主治医と連携してできるだけ支援していく方針を説明している。家族会でも看取りについて話をしており、重度化した場合について内部研修を行い、ケアについて話し合っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・緊急のマニュアルを備え、器具の使用法、緊急通報について研修を実施しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・定期的に火災の避難訓練を行い、地域の方にも参加、協力して頂き、体制を築いています。</p>	<p>避難訓練は年2回実施し、消火器の訓練も行っており、地域の協力も得ている。消火設備の点検も定期的に行い、スプリンクラーも設置完了している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・家庭的な雰囲気作りに努めるとともに、尊敬の念を持って接するよう心がけております。	内部の研修等で、利用者に対する言葉使いやトイレ誘導時の声かけなど確認しており、信頼関係を大事にしたプライバシーの確保や人格を尊重した支援を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・楽しい会話を楽しみながら、思いや希望を引き出す努力を行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・一人ひとりのペースを大切に、し本人の希望にそって支援できるよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・経営理念の1つであり、更衣して頂くとき、自分で好きな服を選んで頂いており、身だしなみやおしゃれを楽しんで頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・野菜の下ごしらえ、テーブル拭きなどお手伝い頂いています。</p>	<p>食材に庭の菜園の野菜を使ったり、利用者と一緒に食材購入に出かけたり、外出時に弁当を作ったりしている。また、行事食やラーメン屋に来てもらうなど、利用者が楽しめるように工夫している。利用者もできる範囲で食事の用意や後かたづけなど行っており、職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事ができる支援をしている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・水分摂取量、献立メニュー等、記録し、特に持病（糖尿病等）のある利用者様には、量や栄養バランスに配慮しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・確実に実施出来るように支援しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>・排泄状況を記録に残し全職員が排泄パターンを把握できるようにしています。</p>	<p>排泄チェック表を作成し、時間や習慣を把握して利用者一人ひとりに適時に声かけを行い、トイレ誘導をしている。その上で、できるだけおむつをしないで済むように、排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・季節に合った食材を取り入れ海藻類、根菜類と合わせて摂取して頂いているセンナ茶飲用で便秘改善されています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・1日おきの入浴実施。可能な限り本人のタイミングにあわせている。月1回デイサービスでの温泉入浴。	入浴は1日おきに支援しており、月に1回は温泉入浴を実施している。特殊浴槽もあり、それぞれのペースで入浴を楽しめるように配慮しながら個別に入浴している。また、入浴剤など使用したりして、気持ちよく入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・本人のペースに合わせて支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・職員同士で利用者様の名前を確認し誤薬しないように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>・無理のない範囲で洗濯物たたみ、テーブル拭きのお手伝いをして頂き、創作活動、音楽教室、喫茶コーナー、誕生会等計画し楽しんで頂いています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>・散歩、外気浴を日常的に行い、外出はドライブや行事等参加等で家族や地域の方々と協力しながら支援しています。</p>	<p>天気のよい日は散歩をしたり、ドライブに行ったりしている。家族の協力を得て、買物なども実施しており、歩行困難な利用者もリフト車を利用して一緒に外出している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・1名の方がお金の管理出来ています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・電話を頂いたお礼ご本人様とお話されたり職員から日頃の様子等を報告し、又、年賀状、暑中見舞いを出す際、出来るだけ本人に書いて頂き職員も一言そえてお出ししています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・毎日清潔に心掛け、壁面に季節の物を飾ったり、生花を生けて季節感が出る様に工夫している。</p>	<p>共用空間は、利用者の作品や写真などが掲示され、季節感を大事にした飾り付けがなされている。食堂・談話室は、天井も高く採光が良い。また、和室もあり、利用者がゆっくり落ち着いて過ごせる環境になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・リビングにソファを置きゆっくり過ごしてもらいながらテレビ観賞、足マッサージをして頂いている。渡り廊下に椅子を置き、外気浴を兼ねて会話や歌をうたったりして楽しく過ごされています。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・使い慣れたタンス、小物、置時計、写真等を飾り、安心して過ごせるようにしている。</p>	<p>居室は、洋室でベッドとクローゼット、ナースコールが設置されている。居室には、本人の使い慣れた家具等や手作り作品・家族の写真等が飾ってあり、利用者が安心感して暮らせる配慮をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・職員会議、ケース会議、申し送りなどで利用者様の現状把握をし、その人らしい生活が、送れる様にしており、建物等の失損については、利用者様に被害が出る前に上の者に報告し対処しています。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない